

# 庁議の概要

開催日：H16.4.19

## 項 目

- 1 平成16年度経営品質向上の取り組み方針について【総務部】
- 2 県議会に対する平成16年度業務概要説明の要旨について【各部局】
- 3 その他
  - (1) 春の全国交通安全運動の実施結果(概要)について
  - (2) 庁議、政策調整会議のテーマについて
  - (3) 知事より

## 内 容

- 1 平成16年度経営品質向上の取り組み方針について

総務部長から、平成16年度経営品質向上の取り組みの主な変更点についての説明があった。

### 【主な変更点】

- ・ セルフアセスメントの進め方を変更する。(評点付けを実施しない等のシート簡略化、実施内容の引継、所属長の積極的な関与等)
- ・ 先導的な(成果の見える)課室を育成する。
- ・ 所属長等への研修を実施する。
  - 対象者：全所属長
  - 日 程：6月18日(金)、19日(土)
  - 場 所：高知市内若しくは高知市近郊

- 2 県議会に対する平成16年度業務概要説明の要旨について

各部局長から、4月14日～16日に開催された県議会に対する業務概要説明(常任委員会)においての論点や課題等について話があった。

### (政策推進担当)

- ・ 企画振興部、政策推進担当、政策総合研究所の役割の違いについて多くの意見があった。整理のうえ、後日説明するようとの要請があった。

### (土木部)

- ・ 入札契約制度について、いろんな意見が出た。今年度変えるもの、次年度以降どうするといったことについて、企画建設委員会で勉強会を開きたいので、情報の提供をお願いしたいとの注文があった。

### (港湾空港局)

- ・ 特になし。

### (危機管理担当)

- ・ 東南海・南海地震に係る特別措置法に基づく対策計画を作成するのに時間がないが、との質問があった。
- ・ 国民保護法制の県としての問題点の整理ができているのか、との質があり、今後、総務委員会で勉強会を実施することになった。

(文化環境部)

- ・ エコサイクルセンターの設置に係る市町村負担金について、懸案事項として報告を行ったが、委員会は今後を見守るとの姿勢。

(健康福祉部)

- ・ 健康福祉企画課の役割、存在意義についての質問があった。庁内での機能は別として、県民にとっての存在、何をしているか分かりにくいという趣旨。
- ・ 市町村合併に絡んで、社会福祉協議会の合併問題についての質問があり、保健福祉圏域との調整が出てくる旨の説明を行った。
- ・ 乳幼児医療費の助成については、来年度実施すべく早急に検討するようにとの意見があった。

(森林局)

- ・ 中国への木材輸出について議論があったが、慎重な対応が必要という認識をお答えした。
- ・ 15年度にテレビ番組で放映した映像を編集して、学校へ配布する事業の事業費が高すぎるとの指摘があった。

(企画振興部)

- ・ 政策総合研究所は不要ではないか、事業費1億円は無駄ではないかとの指摘があった。
- ・ 高知女子大、短大の今後のあり方についてさまざまな意見があった。
- ・ 地域支援企画員の活動成果や実態については、議会ごとに企画建設委員会で報告するようにとの意見があった。

(企業局)

- ・ 長年供用の見通しが立っていない中筋川ダム関連工業用水を企業局で持っていることについて、農業用水、上水道等との関係の詰めをして、廃止について検討するよう質問があった。

(病院局)

- ・ 高知医療センターがスタートすれば、県立病院(安芸、幡多けんみん)の役割が変わるのではないかと。役割分担をきちんとしておくべきとの質問があった。
- ・ 老朽化している安芸病院の改築や中央病院跡地の売却等についての質問があった。

(競馬担当)

- ・ 藍住町の場外馬券場についての質問があった。

(海洋局)

- ・ カツオ船リースの件については、もう一度県漁連に積極的に働きかけていく旨の説明を行った。

(農林水産部)

- ・ 普及センターと耕地事務所を統合したことで、普及体制が低下するのではないかと、との指摘があったが、きちんとバックアップ体制をしいていくこと等を説明した。
- ・ 園芸振興について、戦略会議での議論をどう実践につなげていくのかとの質問や、卸売市場法の改正に伴う荷さばき手数料の自由化という環境変化に、早めの対応をしていくべきとの意見があった。
- ・ 公共事業については、まずハード整備を、との意見があったが、ハード・ソフトを一体的に進めていく旨の説明を行った。

(商工労働部)

- ・ グリーンピア土佐横浪の累積赤字に対する責任問題についての質問があった。
- ・ サンモールについては、県が過剰投資を認めたのではないかと、との指摘があった。

- ・ 「室戸いやしの里」整備にかかる今後の財政負担についての質問があり、地元の室戸市と詰めていく旨の説明を行った。

(教育委員会)

- ・ 土佐の教育改革が7年経過したが、成果が見えてこないとの指摘があった。今後こういった形で成果を県民に示していくのか検討していかなければならない。
- ・ こども条例については、条例の必要性や内容についての反対意見があったが、一部の委員から勉強会をとという声もあり、開催にこぎつけたい。

(情報化戦略推進担当)

- ・ 電子自治体の取り組みについては、県民や市町村に分かりやすい進め方をするようにとの要請があった。
- ・ 共同アウトソーシングについては、今の形式にこだわらずに少しでも実効性のあるものに、との意見があった。

(警察本部)

- ・ 警察署の耐震化対策、津波被害についての意見があった。
- ・ 防犯対策、コンビニエンスストアにたむろする青少年の問題等について意見があった。

(総務部)

- ・ 人事に関するアンケートの結果(仕事にやりがいを感じていない職員が1/3程度いる等)についての質問があった。今後、庁議などの場で議論をお願いしたい。
- ・ 職員としての基本的態度(あいさつなど)が十分でないとの指摘があった。
- ・ 地方財政制度やその中での問題点をわかりやすく説明してほしいとの要請があった。

### 3 その他

#### (1) 春の全国交通安全運動の実施結果(概要)について

警察本部長から、春の全国交通安全運動の実施結果について、説明があった。

- ・ 死者が激増しているが、その中でも高齢者の事故が多い。今後死亡事故をどのようにして減らしていくのかを検討していく。
- ・ ちなみに、交通事故の問題とは別だが、高知市内での交通量が増えている。交通量が増えると、3~6ヶ月後に景気が上向くとのデータがある。

#### (2) 庁議、政策調整会議のテーマについて

政策推進担当理事から、庁議、政策調整会議のテーマとして考えられる項目の紹介があり、会議の活性化に活かしてほしい。また、三役会議(庁議終了後1時間程度設定されている)を積極的に活用してほしい旨の説明があった。

#### (3) 知事より

- ・ 先日、ある民間の方と話をした際、六本木ヒルズの回転扉のことが話題になった。何か問題が起こった場合には、先手、先手で情報公開を行うことの必要性を改めて認識した。
- ・ 先頃総務部がまとめた「人事に関するアンケート」の結果に必ず目を通し、日頃感じている職場の雰囲気とどう違っているかを把握してほしい。そのうえで、職員が少しでもやりがいを持って働ける組織づくりに向けての対策を、経営品質の取り組み等も参考のうえ、考えてほしい。